

70. おかげとうろう おかげ燈籠

■ 指定日

平成9年7月10日

■ 種別

有形文化財 建造物

■ 年代

江戸時代

■ 所在地

朝来市和田山町宮

■ 所有者

宮区



■ 内容

文政13年(天保元年、1830年)の「おかげ参り」の参加者が、帰郷後奉献したもの。
「おかげ参り」は江戸時代に約60年おきに発生し、時に大流行となり人々を熱狂的な集団として伊勢神宮へかり立てた。
発作的ともいえる参宮の旅に出る者の数は、時に全国で300万人にも達したという。
宝珠に変えた剣先祓型に「大神宮」と刻み、末広がりの竿に「おかげ」とある。典型的な「おかげ燈籠」の形状であるが、県内では数例を数えるだけである。